

## 「四街道市教育振興基本計画（後期計画）（案）」に係る意見提出手続 における意見の概要と市の考え方

平成30年11月1日（木）から12月3日（月）までの間、「四街道市教育振興基本計画（後期計画）（案）」に係る意見提出手続を行ったところ、以下のとおり意見提出がありました。

意見の概要と意見に対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

- 意見提出者数 6人
- 意見件数 18件
- その他 5件
- 四街道市教育振興基本計画（後期計画）（案）以外の要望 2件

### 表中の「市の考え方の区分」

- ：意見の全部又は一部を計画の修正に反映したもの 18件中 0件
- △：すでに計画に反映されているもの 18件中 8件
- ：意見を計画の修正に反映しなかったもの 18件中10件

## I 四街道市教育振興基本計画（後期計画）（案）への意見 18件

No	意見の概要	市の考え方	区分
1	校舎が古くなって汚れています。予算を組んで子どもたちが明るく元気に学べるようにしてほしい（トイレの和式も洋式に）。	学校施設の耐震化工事が完了したことから、校舎の大規模改修や修繕に取り組んでいきます。また、現在、洋式便器の設置率が低い学校から順次洋式便器への交換を進めています。	△
2	第4章 前期計画の成果と課題：基本方針2の全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査について、現在ほぼ同じ、やや下回る、やや上回る、上回る、下回るとの評価がされているが、おのおの具体的に算定方法を記載すべきである。	調査結果は、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、平均点のみにこだわり、序列化や過度な競争が生じることがないように結果公表に努めています。また、調査結果を分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが重要であると考えます。	□
3	第5章 基本方針と主な施策についての基本方針2の目標の設定について、全国及び県平均以上を目指しますとしているが、具体的な判定方法を記載すべきである。前期計画においては全国との差異が3%以内をほぼ同じとしており、平均以上というのは3%を超える目標を持つ		

	のかどうかを数値として記載すべきである。		
4	目標項目の達成状況（P 2 3）の 4 行目…全国・県平均と比較して…と記載されているが、県平均は削除すべきである。	達成度の評価は、同年度の県の数値との比較も行います。	□
5	目標項目の達成状況（P 2 3）の全国学力・学習状況調査の評価は平成 23 年度から平成 29 年度をまとめて「概ねほぼ同じでした」としているが、平成 28 年度以降は中学 3 年生においては全国平均をやや下回る結果となりました…と記載すべきである。	評価については、事実を総合的に判断したものです。経年の変化を的確に把握・分析し、児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることが大切であると考えます。	□
6	目標項目の達成状況（P 2 3）11 行目…学力が向上しその結果が表れたものと思われまますとしている。この部分の記載は削除すべきである。	日々の教育活動の成果であると考えます。	□
7	基本方針 4 のうち、公民館利用者は 168,700 人であるがこれは減らすべきである。	平成 29 年度の利用者数 163,296 人に対して、平成 35 年度の目標利用者は、168,700 人としており、この数値は、計画最終年度の目標値として設定したものです。今後、公民館として、多様な学習の機会や集いの場の確保に努め、利用者数が増えるよう取り組みます。	□
8	30 年度は「100%」と記されていた基本方針の目標項目が 35 年度目標では「増加を目指す」と記されたことに賛同する。	人間形成や学力向上に関しては、必ずしも目標数値だけではなく、児童生徒一人一人の力を伸ばす指導を心がけ、総合的に評価することが大切であると考えます。	△
9	小中一貫教育という言葉が散見されるが、実際に現場で実施されている内容を根本的に見直す必要があると思う。	義務教育 9 年間を一体的に捉え、学力向上、豊かな心の育成、基本的生活習慣の確立を図ることは重要と考えます。	□
10	前期計画の 1. 計画策定の趣旨には、<教育基本法が改正され、「人格の完成」や「個人の尊厳」などこれまでの普遍的な理念は大切にしながら、従来の理念に加えて「教育立国」の実現に向けて…>となっていたが、後期計画にはその文が見当たらない。	教育基本法で謳われている「人格の完成」や「個人の尊厳」などの視点は、すでに基本理念の中に包含しています。本後期計画は、この基本理念により策定しています。	△
11	前期計画の 1. 計画策定の趣旨には、<教育基本法が改正されたが、「人格の完成」や「個人の尊厳」などこれまでの普遍的な理念は大切にしながら…>と丁寧に述べられていた。しかし今回の後期計		

	画（案）にはこの大事な「人格の完成」「個人の尊厳」が抜けている。後期計画の趣旨にも、先の「人格の完成」「個人の尊厳」の文言を書き入れて、その内容を反映させてほしい。		
12	基本方針2「確かな学力を身につけた子どもを育てます」の③「学校教育を充実させるための支援を行います」として、〈望ましい家庭教育のあり方について、小中一貫教育の観点から中学校区ごとに共通した「手引き書」を作成し、学校や家庭を支援します〉。とある。手引き書を作る以前に、家庭と学校が率直に意見交換をすることができる環境づくりを迫及していただきたいと思う。手引き書の作成にあたってはくれぐれも慎重を期していただきたいと思う。	中学校区ごとに作成する「手引き等」は、保護者や地域の人たちの願いを反映したものになることが重要であると考えます。また、作成した「手引き等」を活用しながら、さらに学校と家庭との連携をより一層深め、子どもたちの学習習慣の形成を図っていきたいと考えます。	△
13	基本方針3「教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます」には、教職員の資質能力の向上と子どもに向きあえる環境づくりが課題として挙げられており、研修の充実や多忙化解消のための校務支援システム導入などの工夫が掲げられている。それはそれで追及しつつ、根本的な改善のためには教職員の増員は欠かせないと思う。教職員の増員を大きな柱として位置付けていただくことを要望する。	県から配置されている教職員に加え、市独自で、少人数学級推進教員等、市雇用の教職員を学校の実態に即して配置するよう努力しています。なお、国や県に対して教職員の増員等に関する要望を行っています。	△
14	3ページの1. 基本理念「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」を挙げた『教育の基本理念は、「教育の根本は人づくり」という考えを基に作成しています』の人づくりは誰のための人づくりなのかと心配している。一人一人の個性を大事にする教育を希望する。	一人一人の個性を大事にする教育の視点は、基本理念の中に包含していません。本後期計画は、この基本理念により策定しています。	△
15	小中一貫教育から見えてくるものは、「ルールを守る」「黙動清掃」「ゲー・ペタ・ピン」など、行動の形を身につけさせ、大人から見て「良い子」の行動を求められる感じである。道徳教育の強化ではと心配する。なぜ「小中一貫教育」と銘打たねばならないのか。小中連携をとってやっていけばよいことだと思う。小中一貫教育の問題点検討もお願いします。	小中一貫教育では、義務教育9年間を一体的に捉え、学力向上、豊かな心の育成、基本的生活習慣の確立を図ることをねらいとしています。そのために、児童生徒の発達段階を踏まえた具体的な取組が大切であると考えます。	□
16	小学校1年生からの英語教育については、「早くから学ぶと身につくようにな	英語教育の推進については、小学校低	□

	<p>る」というのは本当なのか。しっかりと国語教育をつけることに力を注ぎ、その上に外国語教育をやってほしい。</p>	<p>学年から英語独特の音声や文の構造に触れながら義務教育 9 年間を見通した学習を行うことで、実践的な英語力の育成を図っています。</p> <p>また、国語科についても言語能力を育成する中心的な役割を担う教科であることから、引き続き授業の充実を図る必要があると考えます。</p>	
17	<p>次々と増える教科への対応で、教職員はますます忙しくなり、子どもと向き合う時間が減っていくでしょう。根本的な改善のためには教職員の増員が必須です。教職員がゆとりをもって子どもと対応できるようになることが大きな解決への道ではないか。</p> <p>1 クラスの人数を減らすことも必要だと思う。</p>	<p>市雇用の教員を配置し、少人数指導等を推進しています。なお、県においても学級編制基準の弾力的運用を行うなど、少人数学級の実現に向けての取組を進めています。</p>	□
18	<p>基本方針 3 の施策の中の教職員が子どもと向き合う時間を確保するためにも、人的支援が必要である。「人的支援を行う」としている点を大いに歓迎し、その具体的な方策（教職員増を図る。専門性のある特別選任講師の増員など）をお願いしたい。</p> <p>また、多忙化とされる会議や行事等の精選化を取り上げているが、具体的には何を減らすのか検討してほしい。早朝練習、放課後練習が年間を通して行われエスカレートしている現状や部活動の指導などをどう改善していくのか、何かをやめていかなければコマ数の多くなった授業をやりくりできない。授業をわかりやすく楽しくすることを根幹に据え、教員が自由になる時間を確保されてこそ資質能力の向上や子どもと向き合える環境作りにつながると思う。そのためには増置配備計画を検討に入れてほしい。目先の学力テストの点数に左右されない質の高い学力向上を期待する。</p>	<p>会議の効率化や行事の精選、校務支援システムの活用、調査等の簡略化などの見直しを行い、学校事務の効率化を図っています。</p> <p>なお、市独自で少人数学級推進教員等の教職員や、専門性をもった部活動指導員等のスタッフを学校の実態に即して配置するよう努力しています。また、教職員の勤務環境改善のため、学校における働き方改革の一環として、給食費の公会計化や長期休業中における学校閉庁日の設定等を導入しています。</p>	△

## II その他 5件

No	意見の概要	市の考え方
19	教職員の勤務時間を一定の勤務時間とし、ブラック化をなくしてほしい。	教職員の勤務環境改善のため、学校における働き方改革の一環として、給食費の公会計化や校務支援システムの導入、長期休業中における学校閉庁日の設定、部活動指導員の配置等を導入しています。
20	全教室にエアコンを設置したご配慮、煩雑な気持ちの負担も重い給食費の徴収から教職員を解放した英断、市費による学習や介助の支援員配置、タクシーの借り上げによる児童の搬送など、他市に勝る暖かい施策にこの場を借りて感謝申し上げます。	常に改善意識をもち、児童生徒や市民にとってより良い教育環境等を整備する施策の実施に努めています。
21	今後もより一層、四街道の子どもたちの声、教職員の声、市民の声を聞いていただき、四街道の教育にとって何が必要なことなのかを見極めていただきながら、子どもたちが生き生き、のびのびと学び過ごせる学校、市民が一層自己実現を目指せる生涯教育を目指していただきたいと思う。	日ごろより学校現場等に出向き、教職員や児童生徒、市民の生の声を聞きながら、ニーズなどの把握に努めています。
22	<p>個人の心を評価する「新しい教科 道徳」が子どもたちを萎縮させていくのではないかと懸念している。「教科の土台となる科学がある」他教科とは違い、政府が望む内容が持ち込まれる可能性も大きい教科である。戦前の修身や教育勅語の復活を持ち込むことが心配である。</p> <p>また、使用する教科書は市民に公開された会議の場で民主的に決めてほしい。</p>	<p>「特別の教科 道徳」については、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成することが重要であると考えます。</p> <p>教科書採択については、外部からの働きかけに左右されることなく、文部科学省及び県教育委員会の通知により、静ひつな環境を確保することが求められているため、会議を公開しておりません。</p>
23	公民館の利用者数を現状の 163,296 人から 168,700 人に設定しているが、有料化し複雑な手続きをしないと利用できなくなると利用者は減るのではないかと懸念している。「自己実現を目指す市民の生涯学習・・・を支援」を掲げるのであれば、今まで通り無料で、手軽に利用できる公民館であることが是非必要である。	今後、公民館利用者が増えるよう取り組みます。

### Ⅲ 四街道市教育振興基本計画（後期計画）（案）以外の要望 2件

No	意見の概要
24	すべての学校の教職員を増やしてほしい。
25	学校給食を無料にしてほしい。